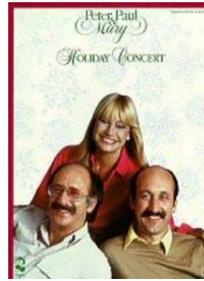


たり過去の職業も含め、専門知識をもって活用するのが職業奉仕であり、それが社会に貢献すれば社会奉仕となります。さらに国際奉仕への出発点となります。それが超我の奉仕であると思います。十分に時間がありますので、私が昔から人生の歌として聴いておりました40年前のアメリカのフォークソングを聴いていただきたいと思います。ピーター・ポール・アンド・マリーの反戦歌です。



コラム

「一粒の稲」から、何粒の米が実るのかご存じですか？

春に植えられた稲の粒は根をしっかりと張り、夏には炊きたてのご飯のようなすかな甘い香りの花を咲かせ、実を結びます。品種や発育により異なりますが、一粒からは約1000から2500粒の米ができるそうです。



『米』という字は、稲の穂の形（点は米粒）を表していますが、「八十八」とも読めることから実るまでに八十八回くらい手間をかけて育てていると言われています。夏から秋にかけて、実が育ち、農家の方の努力が実る“充実の季節”です。『実るほど 頭を垂れる 稲穂かな』(詠み人知らず)もうすぐ新米の季節。感謝の気持ちで、おいしいお米を食べましょう。



2005年8月24日(水)平尾ガバナー公式訪問 記念撮影

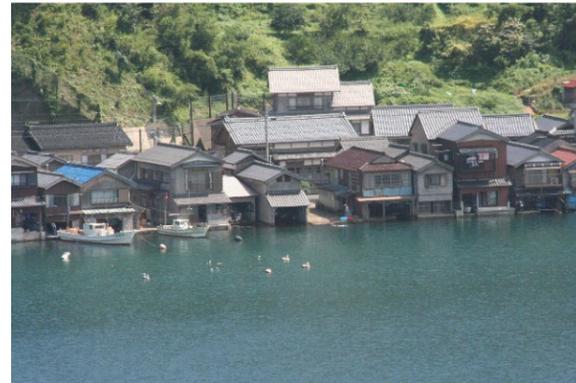
近隣クラブ例会変更のお知らせ

幹事 井上隆彦

クラブ	日	時	場 所	備 考
太 子 R C	9/15(木) ⇒	9/14(水) 19:00~	太 子 R C 事 務 所	ガバナー公式訪問
松 原 中 R C	9/14(水) ⇒	9/16(金)	天美西青少年運動広場	ソフトボール大会

お願い やむを得ず例会欠席時は、当日午前10時までに電話又はファックス、メールにて事務局へ必ずご連絡下さい。

丹後路の風景



伊根の舟屋

舟屋は海面すれすれに建てられているので、満潮時ともなれば、あたかも家が海に浮かんでいる様な景観となり、全国にも珍しく、波の荒い日本海では他に見ることのできない詩情を漂わせます。



新井の千枚田

美しい海岸線を見下ろす急斜面に連なる棚田。朝日が昇る田植え前の棚田は、映画のスクリーンに映し出される美しい田舎風景のようです。

Photo:Yasu

MATSUBARA ROTARY CLUB

RI第2640地区

No. 1796



超我の奉仕

松原ロータリークラブ週報

超 我 の 奉 仕
SERVICE Above Self

R. I. 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

事務所・例会場
〒580-0043 松原市阿保1丁目2番30号
松原商工会議所会館内
Tel 072(331)1009
FAX 072(331)3388
創 立 昭和39年8月25日
例 会 日 毎週火曜日
12時30分~1時30分
http://www5.ocn.ne.jp/~mrc/
E-mail mrc@viola.ocn.ne.jp

四つのテスト 言動はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

今週のプログラム

第2007回例会

- * 日 時 平成17年 8月30日(火曜日)
12時30分~13時30分
- * 司 会 (SAA)
- * ソ ン グ (唱歌委員会)
「四つのテスト」
- * お 客 様 の 紹 介 (親睦委員会)
- * 出 席 報 告 (出席委員会)
- * 諸 報 告 (会長、幹事、各委員会)
- * 卓 話 「会員の維持と増強
(今なぜ会員なのか)」
RI会員組織地域コーディネーター
第2640地区PDG 亀岡 弘様
(築山 一会員紹介)
- * 定 例 理 事 会 (13:40~)

次週以降のお知らせ

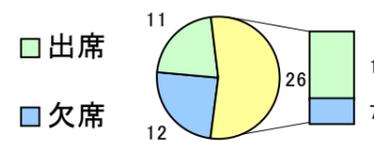
- * 9月 6日(火)
・卓話 岡 正樹会員
- * 9月13日(火)
・卓話 大塚重雄会員
- ・クラブ協議会③ (13:40~)
- * 9月20日(火)
・振替休会 (9/25 秋の家族親睦会にて例会)
- * 9月25日(日)
・秋の家族親睦会 (姫路龍野・有馬温泉方面)
(集合 AM8:30 河南仲銅(株)駐車場)

先週の例会では

第2006回例会

- ・ 日 時 8月24日(水曜日)
- ・ お 客 様 の 紹 介 (松原中RC 親睦委員長)
ガバナー 平尾寧章様
ガバナー補佐 杉江徳久様
地区代表幹事 楠部賢計様
松原RAC 会長 景利友香様
" 幹事 佐田麻美様
" 会計 和田 航様
- ・ 出 席 報 告 (西山(恵)出席委員長)
会員数 49名

出席免除会員数 23名 出席義務者数 26名



出席率 73.08%

8月 9日修正出席率	88.46%
------------	--------

- ニコニコ箱 SAA 二木幸之
- ・ 楽しいことがいっぱいあり
ました
松原第三中学校全国大会で
優勝しました
1) 大峰山、無事全員登れまし
た
2) 吉川
- 3) その他
・ 奥田会員より良い物を頂き
ました 西田(幸)
- ・ 西浦会員にお世話をおかけ
しました 西本(米)
- ・ 平尾ガバナー公式訪問あり
がとうございました 福田
- ・ クラブ協議会欠席お詫び 二木
(各会員)

合計 18,000円

会 長 福 田 資 人 幹 事 井 上 隆 彦 会 報 委 員 長 木 野 多 三 雄

＜＜ 会長の時間 ＞＞

会長 福田資人



本日、平尾ガバナー様、楠部代表幹事様、杉江ガバナー補佐様には、誠にありがとうございます。101年目を迎えてロータリーの奉仕の本筋は変わりませんが、多々変えていかねばならないところも出てきていると感じております。そこを平尾ガバナー様にいろいろとご教示をいただきたく存じております。この後、会員の皆様とガバナーのお話を楽しみに聞かせていただきたく思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。会長の時間とさせていただきます。

＜＜ ガバナー・アドレス ＞＞

RI第2640地区

ガバナー 平尾寧章 様



皆様こんばんは。先程より松原・松原中ロータリークラブの会長、幹事様とお会いいたしまして色々こちらが勉強させていただきました。松原はロータリーアクト、松原中はインターアクトを世話して下さいまして、また松原中は今年青少年交換学生を一名受け入れていただきました。本当にありがとうございました。共にロータリーを目指す青少年育成をしてくださいました。人作りのロータリーの意欲をもって取り組んでおられますことに敬意を表したいと思います。

公式訪問ということで、まずカール・ヴィルヘルム・ステンハマーさんの平和演説の一部をご紹介します。まず、識字と水を強調されました。日本人の私達にとって、実感としてとらえにくい問題ですが、まず人類愛に基づく人道的プログラムがあります。非識字人口の4分の3がアジアの人々で、その3分の2が女性です。途上国における若い女性の教育により、人口問題が解決しますと貧困と保健の面でも非常に効果があるの

は実証されています。

続いて水です。20世紀は石油、21世紀は水の戦争になると言われています。途上国では食べ物が無くて死ぬよりも、汚水を飲んで病気になって死ぬ人が多いと言われています。

次にRI会長として当然のこととして、各クラブ純増1名を強調しておられます。そして特に女性会員を増やしてください、女性のガバナーを作ってくださいと言っておられましたが、中々日本の古いクラブでは女性会員はちょっと入りにくいような事もあります。

3番目に青少年交換を強調されています。松原中のタイの学生さん、先程はありがとうございました。そしてRIテーマとして「service above self 超我の奉仕」を取り上げられました。85年に渡ってロータリーの基本となる第1標語であります。1911年に全米ロータリー連合会で採択されたのは「最もよく奉仕するもの 最もよく報われる」でありました。このときコリンズさんが提唱されました「service not self」というのがあります。これが元であります。1915年にはサンフランシスコの大会でロータリーの道徳律が採択されました。

ロータリアンはひたすら自分の利を主張すべきでなく、他人を滅ぼすより他人に滅ぼされる事を選ぶのであって、この道徳律がロータリーの精神基盤になっています。日本では米山さんがそのような方であったと聞いています。しかし、ここまで来ますとキリスト教的色合いが強く、あまり教義が高すぎるということで、「not self」が「service above self」になったのです。Service above selfは1923年の決議23-34の冒頭にはっきりと定義されています。この第1項に、ロータリーとは、基本的には一つの人生哲学であり、自己的欲求と誰のために奉仕したいという感情の間に常に存在する矛盾を和らげようとするものです。この思想こそ超我の奉仕の哲学となっています。

1998年の手続要覧には、その後にアーサー・シェルダンの「最もよく奉仕するもの、最もよく報われる」という実践倫理として書かれていたが、2001年より姿を消しました。なぜかと言いますと、heは男女差別であるからtheyにしましよ

う、theyは集団奉仕だからoneにしましょう、oneはちょっといやだから、またtheyにしましょうということでtheyになったのであります。

また、profitは儲けにつながるから良くないというような考え方もあるようです。しかしアーサー・シェルダンが歴史的は言葉として提唱された、「he profit most…」はやはりheで言った方が私は良いと思います。heと言いたい人はheと言えば良いし、歴史的な言葉は簡単に変えるべきではないと思います。この決議23-34には、他にも重要な事が書かれています。RIとは何をすることであるか、奉仕の理想を提唱するservice above self、四つのテストなどです。

二番目は拡大増強です。国際ロータリーというのはそのために作られたものです。

三番目にロータリー情報を全世界に伝えるということ、クラブは自主的な独立性を持っているのであって、ロータリーの道に反することで無かったら何をしてもよろしい。今アメリカではこの決議23-34をお払い箱にしたいというような傾向です。

さて、日本では12万人をピークとして現在10万人ちょうどに減ってきています。2640地区も6月末現在2655人、今日事務所に聞いてみたら、30人程増えたそうです。2700人は是非確保したいものです。原因として、経済不況、ロータリーに入っているメリットが無くなった、休会も多くなった、一業種一会員の崩壊などでロータリアンとしての意識の低下があると思います。「今こそ拡大をやめて、今いるロータリアンの原石を磨いていくべきでないか」とは神戸ロータリーの直木パストガバナーの有名な言葉です。いずれにしてもロータリーの危機であると思います。

100年前にもロータリーの創生期に親睦か奉仕かでもめる論争がありました。奉仕には人とお金が必要ですので拡大増強が必要です。それでシカゴのロータリーは例会が荒れて、クラブの親睦も崩壊したのです。それを打開する手段として増強拡大はロータリー連合会に任せて、クラブは親睦に邁進しましょうということで1910年に連合会が出来て、解決しました。

次の危機は、職業奉仕と社会奉仕の葛藤です。職業奉仕派は、ロータリーは人間形成の場であ

る、社会奉仕派は、世の中に不幸な人がいる限りそれを救済するのが先決であるとの論争でありました。I serve ,We serve という意見の対立です。Service above self に始まる決議23-34によって職業奉仕理念をロータリーの哲学と団体的、金銭的な奉仕活動を認めるということで第二の危機は切り抜けました。

三つ目の危機は、1925年始まる世界大恐慌、第二次世界大戦に至る時代です。日本のロータリーも強制的に解散させられましたが、密かにロータリー活動を行い、戦後RIに復帰した後は、今日の発展をみたのです。そして今が第四の危機のまっただ中です。これも超我の奉仕で切り抜けていきましょう。

しかし、奉仕の基本として、自分が精一杯生活し、余ったお金、時間、労力を人のために使うことが超我の奉仕と理解しています。超我の奉仕という言葉は善意という言葉で置き換えてみました。そうすると善意とは人間同士の思いやりであります。善意の反対は悪意であります。我々の社会では自己心であり、生きていくための生命線、生存競争に打ち勝って生き残るために絶対必要な事です。しかし自己を満足させることは一人では出来ないで親分子分、上司と部下、権力者と庶民が必要です。しかし横のつながりも保っていききたいものです。

それがロータリーの目標であり、勉強していくことがロータリーの理念です。それを勉強する場である例会が楽しくなくてはなりません。皆様のクラブではいかがでしょうか。忙しい人が時間を割いて来るのですから、その代償として何かメリットが無くてはなりません。

私はロータリーは何かと聞かれたらESSと答えます。Eはenjoy、Sはstudy、最後のSはserviceです。

ロータリーの終極の目的は人間関係を改善することであり、より良い社会を作り平和な世界を築くための各個人が貢献することであると思います。ロータリーの会員同士が深い信頼と友情に結ばれて全員の心を癒しましょう。だからロータリー運動の出発点は親睦活動になると確信しました。

こうしておれば、奉仕の精神を実践に移すにあ